

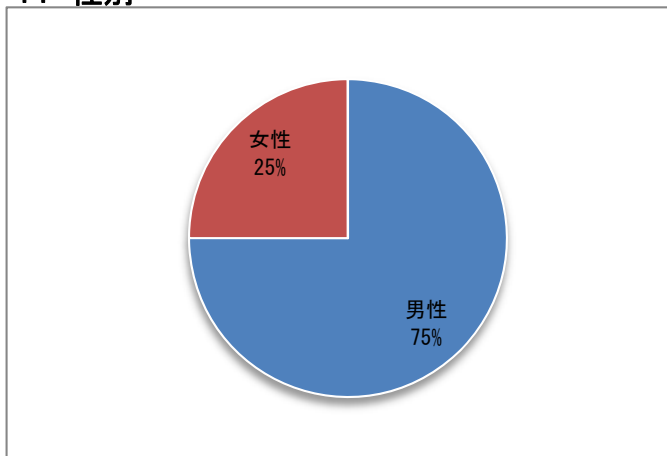
JAXA タウンミーティング in 福井 開催報告

平成 30 年 3 月 11 日、JAXA タウンミーティング in 福井 ～飛び出せ宇宙へ！超小型衛星が紡ぐ福井の未来～ を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいるイプシロンロケットプロジェクトや宇宙環境計測について話題を提供し、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

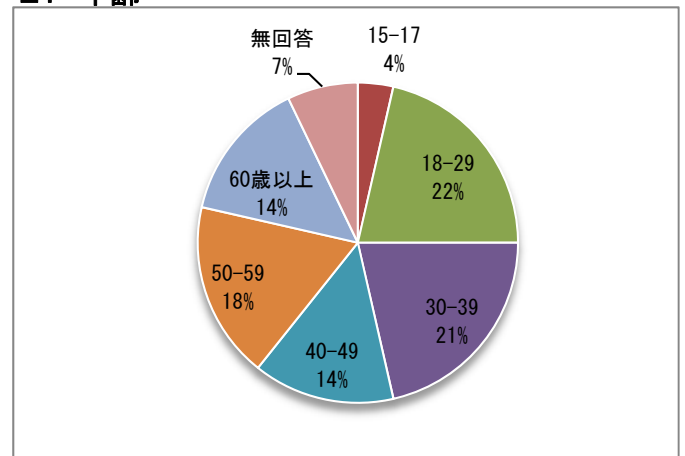
- 開催日時 平成 30 年 3 月 11 日（日） 13:40～15:00
- 会場 福井県工業技術センター B206 会議室
- 参加者数 37 名
- 登壇者 ・ JAXA 研究開発部門システム技術ユニット 研究領域上席 野田 篤司
話題：「超小型人工衛星の現在と将来」
- 進行コーディネーター ・ JAXA 広報部長 庄司 義和

アンケート回答者の属性（有効回答数：28）

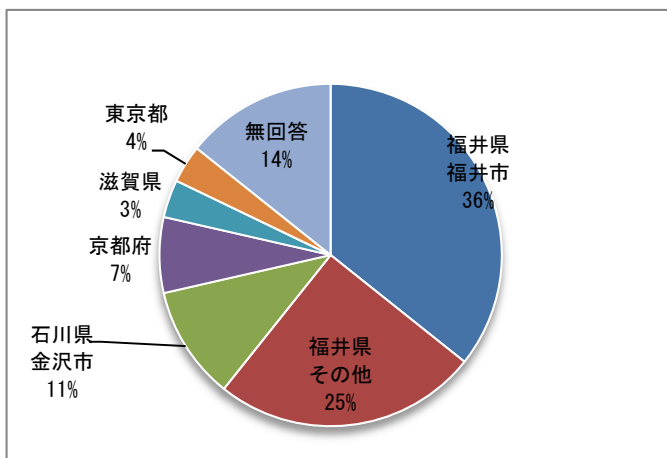
1. 性別



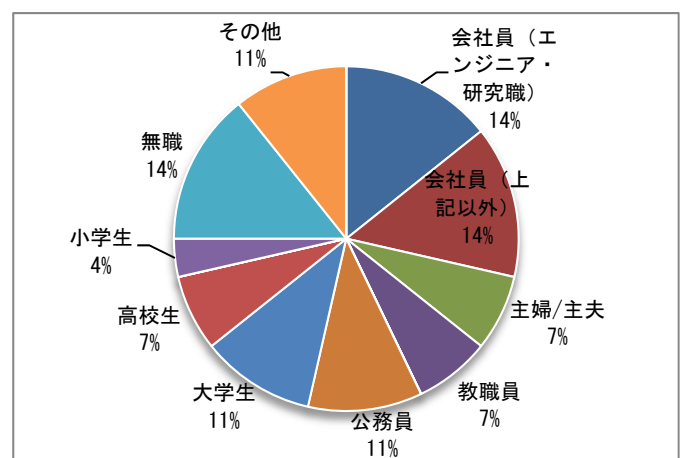
2. 年齢



3. 居住地



4. 職業



いただいた主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

■今回のタウンミーティングの話題に関連して

◇超小型人工衛星の現在と将来

- ・ 例えば、給油・充電機能を持っていたり、通信を肩代わりするなど、小型衛星をサポートする衛星を開発してはどうか。
- ・ 衛星分野の敷居を下げ、地方でも活動が活発になるためにはキーパーソンの存在が必要と考える。
- ・ JAXA がきっかけを作り、民間が運営するような流れができると良い。
- ・ 大変な可能性を感じたが、課題も多い事が理解できた。ぜひ、新しい技術開発により大型衛星並みの機能を持たせて欲しい。
- ・ JAXA が考える超小型人工衛星の夢は何ですか？何を求めて、狙って開発をしているのですか？大型衛星が小型衛星になり、科学の進歩が目覚ましい中、夢を叶えていった結果だと思えます。大人が子供たちに夢を語り、宇宙のすごさをみせることも大切かなと思います。
- ・ まだまだ身近ではない JAXA や小型衛星について多くの人に広報活動してください。
- ・ 宇宙へのハードルを下げてください。
- ・ 先駆的なところについては、世界をリードする形でどんどん実証して、民間にフィードバックしてほしい。
- ・ 既存の社会的精度に役立つようなこと。例えば、山林の公図面積と実測面積は大きく違うので、山林の地積を更生するときに、衛星からとった写真を証拠として採用するようにするなどができるとう衛星の有効性が社会的に大きく認知されると思います。
- ・ 衛星の推進システムに関する効率の良い技術を確保してほしい。
- ・ リスクのあることを多くやってほしい。
- ・ 「新しいアイデア」を頭ごなしに否定しない環境にしてほしい。
- ・ JAXA がきっかけを作り、民間が運営するような流れを求め。

■タウンミーティング、その他について

- ・ JAXA がやっていること、知っていること、それを聞くだけでも楽しいです。
- ・ 体に負担が少なく打ち上げることが可能な、日本の有人飛行を実現してほしい。
- ・ JAXA の方は当たり前でも、一般の人は知らないことが多い。そこから会を進行していただけるともっとよいです。
- ・ 意見交換よりも、講演の方を充実させてもよいかも。
- ・ また福井で開催してほしい。
- ・ 新しいものをどんどんスピード感をもって作ってほしいです。
- ・ 定期的にタウンミーティングを開いてください。
- ・ 研究者の話を聞いて有意義だった
- ・ 寄付金の募集方法にクラウドファンディングも使えるようにしてほしい。

